

1. 会場で笑顔が見られました
2. 敬老者謝辞を述べる菅野初雄さん(比叢)
3. 演芸が披露されにぎやかな雰囲気
4. 「いろいろあったけど、やっぱり幸せ」と話す金婚夫妻代表の坂本登・ツメヨ夫妻(草野)



笑顔あふれる飯館村敬老会

全村避難後、4回目となる飯館村敬老会が9月14日に飯館中学校仮設体育館を会場に開かれました。今年度対象の1146人(75歳以上)のうち、約370人の敬老者が出席し笑顔あふれる1日となりました。

会では、敬老者を代表して齊藤次男さん(深谷)に村長から村敬老祝金が手渡され、村長から「体を動かし、言葉を交わし、元気に過ごしてください」とあいさつがありました。また、金婚夫妻へ福島民報社と福島県老人クラブ連合会から祝品が贈られた他、相馬農業高等学校飯館校家庭クラブ、村社会福祉協議会、飯館ライオンズクラブよりそれぞれ敬老者へ祝品が贈られました。

また、草野・飯樋幼稚園の園児が和太鼓の演奏披露、村文化協会、いいたてスポーツクラブが演芸を行い参加者を楽しませました。



▲約100の方が耳を傾けました



▲「自分だけの物語を歩んで欲しい」と話す玄侑さん

村は、8月31日に飯野学習センターで「健康リスキコミュニケーション講演会 いいたて村と生きるまでいなりレポート」を行いました。

この日は講師の玄侑宗久さん(福聚寺住職・作家)から「風流に生きる」をテーマに講演があり、「震災後、復興に向かっていくのが心のあり方が忘れている。震災を自分の人生の大きな転機とし、これからを歩んでほしい」とお話がありました。

村では今年度、各回それぞれの講師をお招きし全4回の「までいなりレポート」を予定しています。震災から3年が過ぎ、長引く避難生活の中で、もう一度、ふるさとについて考えるきっかけに足を運んでみてはいかがでしょうか。

風流に生きる

考えてみっぺ、村の学校

～今年の飯館村の教育～ 第6回



- Q 避難先から通う子どもたちのスクールバスはどうなっているの？
- A 子どもたちのバス乗車時間短縮と安全確保に努めています。

バス乗車時間を短くするため、村スクールバス8台、村委託業者バス5台が13コースに分かれて運行しています。

※各コースの運行表は村ホームページでも確認いただけます。なお、今号P22にもスクールバス関連記事があります。

村スクールバスは村の行事や学校行事でも使用されています。



▲全コースにバス助手が乗車します

避難前は、バス助手は冬期間のみでしたが、避難後は年間を通して、バスの安全確保に努めています。

スクールバスについては、村教育委員会または村立幼・小・中学校までお問い合わせください。



▲バス乗降時、一人ひとりに声をかけています

安心して、通うことができる学校がいいね！

幼稚園の和太鼓

飯館村教育委員会
学校教育指導員 海野 和夫

飯館村の幼稚園で子ども達が、今年から和太鼓に取り組んでいます。現在、幼稚園児全員が村文化祭で発表するための練習に励んでいます。

演奏の曲目は、「子どもばやし」と「飯館幼稚園太鼓」の2曲です。子どもばやしは5歳児15人が和太鼓、4歳児16人が竹太鼓(太い孟宗竹を太鼓に模した物)、3歳児16人がキラキラ棒(紙の棒に紙の房をつけたもの)で演奏します。

副園長先生によると、5歳児も4歳児もリズムミカルに音をそろえて打てるようになり、自分たちが上達していることをよるこびとして練習しているそうです。3歳児もきつと太鼓のリズムを体に染みこませてキラキラ棒を振っているに違いありません。素敵な発表が実現しそうで、期待に胸が膨らみます。

太鼓の練習はもとより、準備も片付けも協力して行うことで子ども達は協調性が確かになります。また、とても素敵な衣装も準備されました。村文化祭の当日、村民の皆様から、万雷の拍手を頂けると信じています。

教育相談申し込み 飯館中学校教頭まで
024-573-1161